

広 報

おおの



10月号

平成21年(2009年) NO.770



より高く、より速く

“特集” 越前大野城築城430年祭

- P 6 第30回九頭竜紅葉まつり
- P 8 地域ぐるみで減災に取り組もう
- P 9 応援協定による災害合同訓練を実施／衆院選の結果
- P 10 東西の大学生が魅力を体験・調査
- P 11 中心市街地活性化リポ「商店街の新たな取り組み」など

9月8日に奥越ふれあい公園で、第63回大野市小学校連合体育大会が開催されました。市内小学校高学年の児童が参加しました。オープン競技では全児童が参加し、元気っ子チャレンジタイムと銘打つ100m走などの競技に取り組みました。

走り高跳びでは自分の身長ほどの高さに挑み、家族や友だちなどの声援が響く中、練習の成果を発揮しようと真剣な表情を見せていました。

悠久の時を経て…

今、城下町に新しい風が吹く

越前大野城築城430年祭



平成22年3月から23年2月まで 城まつりと10月の行事を中心に

金森長近公が亀山に築城して、来年で430年を迎えます。これを契機に「越前大野城築城430年祭」を開催することになりました。旧城下町やその周辺を舞台として8月に行われる「おの城まつり」と、10月のメイン月間を核に多彩なイベントを開催します。その期間は、平成22年3月21日の七間朝市開きから約1年間です。皆さんの積極的な参画で430年祭を成功させ、市民の自信と誇りにつなげましょう。

基本計画まとめ

1580年に織田信長の部

将、金森長近公が亀山に築城し、来年で430年を迎えます。昨年7月に中心市街地活性化基本計画が内閣総理大臣から認定される中、「越前おの」の元気づくりを推進する好機と捉え、越前大野城築城430年祭を開催します。

本市の歴史や伝統、文化を踏まえて、「越前おの」に新しい風を起し、市民の触れ合いと連帯意識をはぐくむことを目的としています。文化の振興や魅力あるまちづくりに向けて、市民や関係団体、

市が協働して力強く活動を展開していきます。

これまで、検討委員会で構想を練ってきました。それを基本計画として、関係機関や団体、市民の代表で構成する実行委員会でもとめました。実行委員会では具体的な実施計画に着手します。開催に向けて、積極的に広報や宣伝を行い、誘客活動を展開します。この430年祭は、旧城下町やその周辺で開催。その期間は、平成22年3月21日の七間朝市開きから、23年2月6日の越前おのの冬物語までの約1年間です。

築こう！つなげよう！大野市民の自信と誇り

基本理念

越前大野城築城430年を契機に「越前おおの」の魅力や宝を再認識し、全国に発信することにより、多彩な交流を推進します。
 ふるさと「越前おおの」に誇りを持つ市民が丸となって記念イベントを実施することにより、地域文化の継承と新たな文化の創造や未来に続く「まちづくり」「ひとづくり」を推進します。

基本方針

- 「越前おおの」ブランドの確立による元気創造
 「人、歴史、文化、伝統、水や自然環境、食」など「越前おおの」の魅力ある素材を掘り起こし磨きをかけ、「越前おおのブランド」として確立、発信することにより、元気創造につなげる。
- 交流人口の拡大による元気創造
 市外の人に「越前おおの」を好きになってもらい、「越前おおの」に行きたい、触れたい、住みたいといった人が増えるなど、交流人口の拡大により、元気創造につなげる。
- 市民総ぐるみによる元気創造
 市民が「越前おおの」に愛着と誇りを持ち、市民総ぐるみで一丸となって記念イベントを実施することにより、元気創造につなげる。
- 新たな文化の創造による元気創造
 城下町大野の歴史や伝統文化を次世代に継承するとともに、新たな文化の創造を進めることにより、元気創造につなげる。

うぐピー

装い新たに

おおの城まつりのマスケットキャラクター「うぐピー」と「うめピー」が、戦国時代をイメージし装いを新調し、430年祭を盛り上げるため羽ばたきます。

キャッチフレーズ

羽生孝榮さんの作品を採用

7月28日から8月18日までキャッチフレーズを募集したところ、合計153件の応募がありました。

検討委員会や実行委員会で選考した結果、羽生孝榮さん（錦町）の作品「悠久の時を経て…今、城下町に新しい風が吹く」を採用することになりました。



430年祭バージョン・うぐピー

430年祭バージョン・うめピー

年間通じて多彩なイベントを開催

430年祭の期間中には、市民が提案や企画を行うもの、実行委員会が主催するものなど多彩なイベントが開催されます。8月に行われるおの城まつりや、10月のメー

ン月間を核として、効果的に事業の展開を図ります。四季の魅力が体感できるような事業内容としていきま

す。木々が芽吹き花が咲き誇る「春」、さわやかな風の中、市民が亀山に集う「夏」、収穫期を迎え田畑の恵みに囲まれ、山々が紅に染まる「秋」、幻想的な白銀の世界に包まれる「冬」と年間通じて、「越前おおの」の魅力を全国発信し、市民全体で盛り上げます。飛騨、美濃などと広域的に

連携し、友好交流などを行っている市町の協力を得て、事業を展開します。7月28日から8月18日まで市民提案企画を募集しました。市民提案企画は委員会で検討し、430年祭を飾るにふさわしいものについては、積極的に具体化していきます。

メインイベント

いにしえ ~古から未来へ 継承と飛翔~ ひしよ

平成22年10月のメインイベントは、「越前おおの」が輩出した歴代の偉人や先人をたたえ、未来を担う子どもたちに愛着や誇りを感じてもらうことを目的としています。市外の人にもその魅力を体感してもらいます。市民がイベントを通して一丸となり、輝かしい未来像を感じてもらえるよう開催します。

■ 430年祭記念パレード

平成22年10月10日回には、430年祭を市民一丸となって祝うため、市内外からマーチングバンドや踊りなどの出場者を募る予定です。大和町市有地（駐車場）から六間通り、結ステーション（旧有終西小跡地）へとパレードを行う計画です。結ステーションの多目的広場では、ステージイベントや「おまつり広場」を開催することとしています。

■ 魅力体感展示館「越前おおの元気みらい館」（仮称）

平成22年10月2日回から24日回に、まちなか交流センター（旧有終西小体育館）で、「越前おおの」の魅力を一堂に集め、豊かな水や誇り高き伝統文化を、来場者に発信します。「越前おおの」の歴史紹介ゾーンや魅力発信ゾーン、逸品ゾーンなどを設置する予定です。「昭和のこどもたち」人形展も同時開催します。

平成22年					平成23年	
8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月
		<ul style="list-style-type: none"> ●越前大野城築城430年祭記念パレード ●越前おおの魅力体感展示館 				
●越前おおのブランド大使 養老孟司講演会		<ul style="list-style-type: none"> ●「昭和のこどもたち」人形展 ●越前大野城フォーラム ●第14回大野市スポーツレクリエーション祭「まちなかウォークラリー」 ●初めての越前大野城招待事業 ●越前大野城築城430年祭記念まち歩きバスポート 				
	●大野市歴史博物館特別展	●越前おおの 和のひととき				
●おの城まつり ●てらまち万灯会	●越前おおのそばまつり	<ul style="list-style-type: none"> (●越前おおの産業と食彩フェア) ●五番夜市 ●越前大野小京都物産五番まつり ●三大朝市物産まつり ●九頭竜紅葉まつり 				
		●越前おおの冬物語				
		●越美北線開業50周年記念事業				

イベント

■越前おおの食文化の祭典

本年11月15日(日)
学びの里「めいりん」

食の魅力、食の特産品や逸品を市内外に発信することで、「越前おおの」の食文化に対する理解を深め、後世に伝承することを目的にイベントを開催します。

その内容は、越前おおの食守フェスタ2009、越前おおの楽匠展、奥越前醗酵まつりなどです。福井県が第3回全国高校生食育王選手権を同時に開催します。併せて430年祭バージョン「うぐピー」「うめピー」の着ぐるみを披露します。



興味を持ってもらえればうれしいと話す前田さん（学びの里「めいりん」）

有志で模型作成

越前大野城がある亀山のふもとに住む前田善一さんから4人は「430年クラブ」を結成し、城下の立体模型を作成しています。模型や文献につ

いて解説する表示板を作成する5人も加わり、10月18日に開催する大野公民館まつりでの展示に向けて取り組んでいます。前田さんに聞きました。

430年祭の計画を知り、大野城周辺に関係する者として、何ができるのか考えました。城郭を再現してみようと模型作りを考え、有志を募りました。越前大野城のふもとにあった藩の役所と殿様の私邸部分の模型、城郭の模型を今年の3月からコツコツと作っています。大野藩が活躍した幕末当時の明倫館、時の鐘付近をジオラマで再現してみました。



城下を立体的に「再現」
右は時の鐘

過去の文献を参考にしていますが、細かい部分の資料がなくて苦労しています。他の地域を参考にしたり、想像で補ったりと、少し史実と異なる点もあると思いますが、江戸時代のイメージとして捉えてほしいと思っています。

大野公民館まつりで430年祭のイベントとして展示します。市民の皆さんに少しでも興味を持ってもらえればうれしいです。そして来年の430年祭が盛り上がりければ最高ですね。

市民や団体、市などが協働して開催する430年祭を契機に、市街地の活性化を目指しています。

☎ 観光振興課観光企画係
066-11111 内線1622

	平成22年				
	3月	4月	5月	6月	7月
実行委員会主催事業 430年祭の核となる事業で、実行委員会が企画し主催するもの					
大野市主催事業 430年祭の事業として大野市が実施するもの			●初めての越前大野城招待事業		●城下町スタンプラリー
市民自主事業 430年祭の事業に関連し、市民自ら企画し実施する市民主体の事業に対して支援や助成を行うもの			●430年！城からはじまる火消しの歴史 ～大野市消防総合訓練～		
実行委員会支援事業 市民団体、商店街、各種団体が実施している既存事業のうち、430年祭の基本理念に合致する事業に実行委員会が共催や協賛、後援するもの	●七間朝市開き	●おおのさくらまつり ●越前大野春の小京都まつり	●越前大野名水マラソン		
その他 その他430年祭の事業に関連して実施するもの	●七間朝市活性化事業	●まちじゅう商店街にぎわい祭り	●七間朝市山菜フードピア ●九頭電新緑まつり		

第30回

九頭竜紅葉まつり



とき 10月24日(土)・25日(日) 午前9時～午後4時
ところ 九頭竜国民休養地

紅葉茶屋
紅葉ステージ
紅葉市場
遊びの広場
特別展示
情報コーナー

地元の特産品を使った特製弁当の販売
太鼓や郷土芸能などの伝統文化が楽しめる
手打ちそば、山の幸や里の幸などを販売
化石発掘体験やトロッコ乗車体験など
紅葉まつりの30年を振り返るコーナー
JR越美北線利用促進
緑の募金に協力した人に苗木贈呈
その他 紅葉杯争奪ゲートボール大会(10月24日(土) 午前8時)



09 三大朝市物産まつり



「秋の味覚各地の物産」をキャッチフレーズに、七間朝市が総出店します。

日時 10月24日(土) 午前10時～午後4時
25日(日) 午前7時～午後1時

場所 七間通り

▶七間茶屋

おろしそば、三石牛串焼きなどの販売

▶物産市

<友好市町>北海道新ひだか町、新潟県糸魚川市
<ゆかりのあるまち>岐阜県高山市

☎ 越前大野七間朝市振興協議会 (☎69・9520)

JR越美北線に乗って 紅葉まつりへ行こう

★:臨時列車10月24日のみ運転 ★:臨時列車10月24日・25日のみ運転

越前大野・九頭竜湖駅方面

福井	発 ★ 8:35	9:06		12:49
越前花堂	発	9:12		12:53
越前東郷	発 ★ 8:45	9:21		13:02
美山	発 ★ 8:59	9:40		13:21
牛ヶ原	発	9:56		13:36
北大野	発	9:59		13:39
越前大野	着 ★ 9:14	10:02		13:42
	発 ★ 9:16	10:15	★11:31	13:44
越前田野	発	10:19	★11:35	13:48
越前富田	発	10:22	★11:38	13:51
下唯野	発	10:26	★11:43	13:55
柿ヶ島	発	10:28	★11:45	13:57
勝原	発	10:33	★11:50	14:02
越前下山	発	10:42	★12:02	14:11
九頭竜湖駅	着 ★ 9:40	10:46	★12:07	14:15

福井方面

九頭竜湖駅	発	10:58	★12:22	14:33	★16:32
越前下山	発	11:02	★12:27	14:37	★16:36
勝原	発	11:08	★12:34	14:44	★16:42
柿ヶ島	発	11:13	★12:38	14:49	★16:47
下唯野	発	11:16	★12:41	14:51	★16:50
越前富田	発	11:20	★12:45	14:55	★16:54
越前田野	発	11:22	★12:48	14:58	★16:56
越前大野	着	11:27	★12:54	15:03	★17:01
	発	11:29		15:05	17:04
北大野	発	11:33		15:08	17:08
牛ヶ原	発	11:36		15:11	17:11
美山	発	11:50		15:25	17:28
越前東郷	発	12:09		15:45	17:47
越前花堂	発	12:18		15:54	17:55
福井	着	12:22		15:58	17:59

シャトルバス

まつり会場方面	九頭竜湖駅	発	9:45	10:50	12:15	14:20
九頭竜湖駅方面	まつり会場	発	10:40	12:00	14:10	16:10

JR越美北線 特製カレンダープレゼント

10月24日と25日にJR越美北線を利用して紅葉まつりに来た人に、特製カレンダーを贈呈します。

助成制度のお知らせ

越前大野駅と九頭竜湖駅で、回数券や、5人以上の団体に乗車券などを購入した場合に助成を行っています。

回数券は3割助成、団体に対しては5割助成です。詳しくは問い合わせてください。

☎ 生活防災課市民生活係
(☎66・1111内線464)

九頭竜紅葉まつり30回記念 秋色・音彩 ふれあいコンサート

月 日 10月17日(土)

場 所 農林業者トレーニングセンター(朝日)

第1部 ふれあい音楽会

【午後0時30分開場、1時開演】

市民による演奏(無料)

第2部 サンソんでしゃんそん

【午後6時30分開場、7時開演】

シャンソン歌手 井関真人さんなどが出演
(前売り券が必要。料金は1人500円)

※チケット販売 観光協会・市役所和泉支所・道の駅九頭竜



地域ぐるみで 減災 に取り組もう



全国的に災害が発生

近年、突発的に全国各地で自然災害が発生しています。その状況や被害などが、テレビや新聞でも大きく取り上げられていることから、災害に対して不安を感じている人も多いのではないのでしょうか。

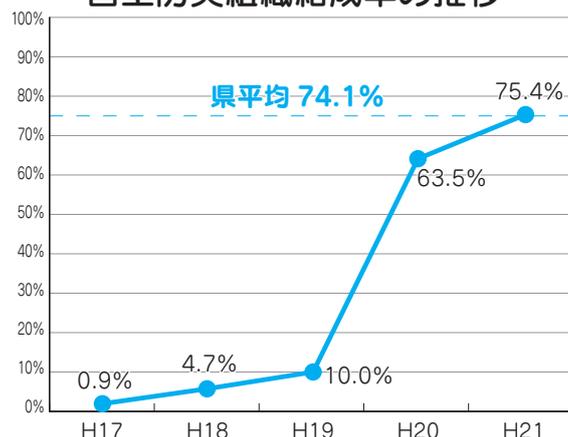
災害が起きた場合、個人でできることは限界があります。地域ぐるみで、災害による被害を減らす「減災」に取り組みましょう。

自主防災組織 結成率75パーセント超

災害時に頼りになるのは、近隣住民による助け合いです。町内会などの単位で助け合いを行う「自主防災組織」は、市内211の行政区中、8月末日現在で159の行政区で結成されています。その結成率は75.4%。県平均の74.1パーセントを上回

年 度	結成行政区数	累 計	結 成 率
H17	2	2	0.9%
H18	8	10	4.7%
H19	11	21	10.0%
H20	113	134	63.5%
H21	25	159	75.4%

自主防災組織結成率の推移



り、災害に対する備えが次第に整ってきたようです。組織の活動内容は、手探り状態という組織もまだ多く見受けられ、組織の育成が必要です。

今後市は、「みんなであつくる災害に強いまち大野」を実現するため、一刻も早い結成率100%の達成と、組織力の強化に取り組んでいきます。

要援護者の避難支援

市では、災害時に避難所まで一人で避難するのが難しい「災害時要援護者」の避難を支援する取り組みを行っています。

ます。

重度の障害や要介護の認定を受けている人を対象とし、地域の力で逃げ遅れによる犠牲者を少しでも減らすために、制度への登録を呼び掛けています。

自主防災組織が結成されている行政区では、市が提示した対象者以外にも、逃げ遅れる可能性がある人の登録を働き掛けています。今後は高齢者のみや、独り暮らしの世帯に対しても登録を呼び掛けていきます。

☎ 生活防災課防災防犯係
66・1111内線463

応援協定による

災害合同訓練を実施

近年、災害などで多種多様な救助活動が求められている中、本市と勝山市、岐阜県郡

上市の各消防本部による「災害合同訓練」が九頭竜ダム湖畔で行われました。

この合同訓練は、消防相互応援協定に基づくもので、橋からバスが転落して多くの負傷者が発生したとの想定で実施されました。

水難救助隊と消防防災へ

リコプターが連携して負傷者を搬送する訓練や、救助隊が傷病者を救出する訓練などを行いました。

訓練を通し、県境で発生する可能性のある災害への応援体制を確認しました。

消防本部警防課

(☎66・0119)



全国女性消防操法大会

阿難祖地頭方が出場に向け訓練

10月22日に横浜市で開催される、第19回全国女性消防操法大会に、福井県代表として「阿難祖地頭方女性消防隊」が出場します。大会での入賞を目指して7月から厳しい訓練を重ねています。



第45回

衆議院議員総選挙の結果

第45回衆議院議員総選挙及び第21回最高裁判所裁判官国民審査が、8月30日に行われました。本市の投票率は、小選挙区が73.09%でした。

▼小選挙区の投票者数と投票率(本市分)

	有権者数	投票者数	投票率
男	14,607人	10,902人	74.64%
女	16,352人	11,727人	71.72%
計	30,959人	22,629人	73.09%

▼小選挙区(福井県第2区)

候補者別得票数(かっこ内は本市分)

	糸川まさあき	78,496票 (10,073票)
当	山本 拓	80,033票 (11,765票)
	河合ゆうき	2,403票 (304票)
	第2区計	160,932票 (22,142票)

▼比例代表

政党等別得票数(県全体。かっこ内は本市分)

国民新党	15,069票	(705票)
自由民主党	181,681票	(9,641票)
民主党	194,774票	(8,190票)
日本共産党	19,845票	(934票)
新党日本	3,864票	(148票)
社会民主党	11,752票	(450票)
幸福実現党	4,077票	(172票)
公明党	39,133票	(1,473票)
福井県計	470,195票	(21,713票)

東西の大学生が魅力体験・調査

法政大と立命館大が大野で実習

法政大学現代福祉学部の学生3人が7月30日から8月12日までの14日間、阪谷地区で宿泊（ホームステイ）しながら、地区住民の活動を通じて地域づくりについて実習しました。立命館大学法学部の学生8人も、8月5日から15日までの11日間、農村と市街地の現状と課題について実習しました。学生たちは、さまざまな活動を通じて本市の魅力に感じました。学生たちの活動には地区住民の大きな協力があり、世代を越えた交流が見られました。

地域住民や

学生同士の交流も

実習期間中には、両学生と地区住民との意見交換会や懇親会が行われました。

懇親会では、地元の農業者グループによる手料理が振る舞われ、学生などは地域性豊かな食材を使った料理を堪能しました。

阪谷の青年サークルとの交流もあり、法政大の実習報告会終了後に、青年サークルによるエコキャンダルを使った「また来てね」の演出もあって、再会を誓っていました。

両学生の相互交流も深められ、懇親会やホームステイなどを通して親切にもてなしてくれた地区住民との触れ合いも一生の宝となったことでしょう。

法政大生

地域づくりを実習

本市は、毎年、法政大学現代福祉学部に自治体推薦を行っています。実習は、同学部が行う教育課程の一つです。地域づくりや地域福祉について体験を得ることを目的に行われています。学生は、

この実習で地方自治体や地域社会、関係組織などの具体的ななかかわりを持つて学習します。

実習の受け入れは、平成19年から始まり、今回で3回目です。学生が本市を舞台に知識を深めることに寄与し、都市に住む若者の目線で、潜在する大野の問題点などを提案してもらうことを目的に行っています。学生と地域住民との交流を通じて「大野ファン」を獲得することも目的の一つです。

今年も、有機農業をキーワードに地域づくりを進めている「越前おおの・阪谷有機の里づくり推進協議会」の活動を中心に実習しました。

同協議会員との意見交換会



立命館大生 農村部や市街地を調査

立命館大学の学生は、商店街と農村集落の活性化を内容として、商店街に3人、農村集落に5人の2班に分れて実習しました。昨年に引き続き、今回で2回目です。

市街地では、三番通りと六間通りの周辺施設や商店主、買い物客、観光客、住民に聞き取り調査を行いました。

農村集落では、阪谷地区の一部で各世帯を回り、農業と農村の現状と課題について、農家から聞き取り調査を行いました。農村集落を回った班は、法政大生と同様に、民家にホームステイし、田舎暮らしも満喫しました。



では、協議会の活動内容や目的などについて質疑応答を行いました。まちづくりの課題についても触れ、活発な議論になりました。



もてなしを受けて喜ぶホームステイ先の立命館大生

新たな目線で

調査報告や提案

学生は、実習の終わりに当たって、地区住民や岡田市長に対し、活動内容を報告しました。

法政大生は、阪谷の有機農産物を使った商品やその販売方法、バイオマスタウンの推進、スターランドさかだにを拠点とした活動について、提案を行いました。

農産物の販売やその宣伝について、普段から学生自身が利用しているという口コミサイトなどインターネットの活用といった、学生の目線による新たな提案がありました。今後、内容を大学の講義でさらに議論し、その結果を市などに最終報告することとしています。

立命館大生は、平成大野屋平蔵とスターランドさかだにで報告会を開催し、「大野人の人柄や豊かな自然環境を生かした活性化策の提案がありました。」



定住を希望する人の受け入れを促進するために、空き家を短期間貸し出す「お試し泊」や、自然や文化を生かして、映画やドラマの撮影場所として売り込む「越前大野フィルムコミッション企画」などについて、新たな提案がありました。

市では、学生の受け入れなどを通じて交流人口の拡大と大野ファンの増加に努めていきます。

中心市街地活性化リポート ⑩

商店街が新たな取り組み

中心市街地活性化基本計画が昨年7月に認定され、市内の各商店街では新たに独自の取り組みを始めています。

旧有終西小跡地を越前おおの結ステーションにと整備が進められています。これらの整備と合わせて、各商店街の取り組みが町中のにぎわいにつながっていきます。

五番商店街「百円商店街」

五番商店街では、商店街全体で、各店舗の前で、「お値打ち百円商品」をワゴンで販売する「五番百円商店街」を昨年3回開催しました。百円商品を購入した人は店内で代



金を払うことになっていることから、店内にある商品の宣伝になり、新たな客の獲得につながっていくことを期待しています。今年は新たに「夜市」を10月2日、3日に開催する計画です。

七間商店街「ワゴン市」

七間朝市出荷組合、七間朝市振興協議会、七間商店街振興組合では、毎月第一、第三日曜日に、朝市の特売百円コーナーと、七間商店街の特売ワゴン市を開催しています。朝市の客により多くの特売品を提供し、買い物を楽しんでもらい、七間朝市と七間商店街の活性化につなげていくこととしています。

春日通り商店街「良縁の木」

春日神社境内にはスギとケヤキが一つの根元から生えており、「良縁の木」として親



しまれている木があります。春日通り商店街では、福井県主催の「学生発街なかにぎわいプラン」で優秀賞に選ばれた提案を基に良縁の木を生かしたにぎわいづくりを始めます。

身近な買い物スポット商店街

商店街には、日常生活を支える商品が並び、店主が対面販売する専門店が多くあります。「青空の見えるデパート」とも言える商店街の「市」へ出掛けてみませんか。

産業政策課商工労働係
☎66・1111 内線3003